

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 変更計画書 <input type="checkbox"/> 実施状況報告書								
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	熊本県阿蘇市一の宮町坂梨2449番地の1								
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	熊本NOK株式会社 代表取締役 中野 正宏								
事業概要	工業用ゴム製品製造業								
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号 該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	4373.5 kl						
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号 該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数	台						
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者								
計画期間	2022 年度 ~ 2025 年度								
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	① 環境負荷の低減に努め、環境保全を図る。 ② エネルギーコストの低減により経営の合理化を図る。 ③ 職場環境の維持、又は工場を図ると共に、省エネルギー活動の推進・継続・改善を行う。 ④ 省エネルギー及び炭酸ガス発生量の年度目標を定め、目標達成、定期的な見直し改善に努める。 ⑤ 省エネ法に基づき、設備の新設・更新を含む設備管理標準を定め、判断基準に則した自主基準の設定・順守に努める。 ⑥ エネルギー管理方針は当社で働く全ての人に周知徹底させると共に、地球環境の大切さに対する理解と意識の向上を図り、全員参加の省エネルギーに努める。								
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	省エネルギー委員会								
	名称:環境マネジメントシステム	ISO14001(2015)	適用範囲 熊本NOK(株) 取得年月日 2007/3/28						
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	【設備更新等】 ・エアークンプレッサー稼働台数の見直し ・休日電力のシャットダウン ・工場排気扇のインバーター化 ・工場排気扇の休日使用電力削減(カレンダータイマー制御) 等 【その他の措置】 ・空調機集中制御化 ・エア漏れ整備 ・移管に伴う設備台数削減 ・空調機更新								
温室効果ガス算定排出量等	年度区分	排出の状況及び目標		排出量等の実績					
		基準年度(2022)年度	前年度()年度	目標年度(2025)年度	()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
	①排出量	5,052		5,001					
	燃料及び熱	36		35					
	電気	5,016		4,966					
	削減率・増減率(基準年度比)			△ 1.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %
	②補完的手段による削減量								
	森林整備等								
	再生可能エネルギー								
	グリーン電力証書等								
その他知事が認めるもの									
①-②差引後排出量	5,052		5,001						
削減率・増減率(基準年度比)			△ 1.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	
原単位算定排出量等	排出量	6712		6584					
	削減率・増減率(基準年度比)			△ 1.9 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	
	差引後排出量	6712		6584					
	削減率・増減率(基準年度比)			△ 1.9 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	
原単位の考え方									

各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等	1年目 ()年度	【設備更新等】 ・エアハンドリングユニットのインバーター化(4台)※'17年度実施済 ・クールクリーンファンの省エネベルト化※'17年度実施済 ・電気炉風量の適正化(129台)※'17年度100台、'18年度29台実施済 ・押し機Vベルトの省エネベルト化※'19年度実施済 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
	2年目 ()年度	【設備更新等】 ・エアコンプレッサー稼働台数の見直し 2020年度実施済 ・休日電力シャットダウン 2020年度実施済('21、'22年度継続) ・工場排気扇のインバーター化 2020年度実施済 ・工場排気扇の休日電力削減(カレンダータイマー制御) 2021年度実施予定 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
	3年目 ()年度	【設備更新等】 ・エアコンプレッサー稼働台数の見直し 2020、2021年度実施済 ・休日電力シャットダウン 2020、2021年度実施済(2020年度継続) ・工場排気扇のインバーター化 2020年度実施済 ・工場排気扇の休日電力削減(カレンダータイマー制御) 2021年度一部実施(一部中止) 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
	4年目 ()年度	【設備更新等】 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
	5年目 ()年度	【設備更新等】 【その他の措置】 【計画の進捗状況等】
特記事項		

- 備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
- 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
- 3 「基準年度」とは、原則、熊本県地球温暖化の防止に関する条例に基づく地球温暖化対策推進計画の基準年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。「前年度」とは、計画期間の前年度とします。また、「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
- 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とし、その単位はt-CO₂とします。
- 5 事業活動温暖化対策計画書を提出する場合は、「排出量等の実績」欄及び「各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等」欄は記入不要です。
- 6 原単位による目標を設定する場合は、「原単位算定排出量等」欄に記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
- 7 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。